

# 関西企業採用19.9%増

来春大卒 コロナ収束見据え 本社1次集計

日本経済新聞社がまとめた2024年春入社の新卒採用計画調査（1次集計）で、関西主要企業の大卒採用計画は23年春実績見込み比19.9%増となった。新型コロナウイルス禍の収束を見据えて採用が活発になっており、2000年以降では06年（23.3%増）、02年（20.1%増）に次ぐ高い伸び率となった。人材獲得に向けた初任給の引き上げも目立つ。

## 理工系確保の動き顕著

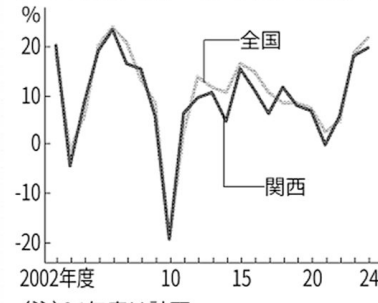
関西2府4県に本社所在地を置く主要企業を対象に調査し、2月24日までに回答のあった372社で集計した。24年春入社の大卒採用計画を回答したのは224社だった。24年春入社の大卒採用計画数は19.9%増の約1万5000人。全国の伸び率（21.6%増）に及ばないが、採用意欲は旺盛だ。23年春入社は

順位	企業名	24年春計画	23年春実績見込み
1	大和ハウスグループ	1190	992
2	積水ハウスグループ	約830	約788
3	日本生命保険	約800	647
4	積水化学グループ	約730	729
5	京セラグループ	約670	634
6	ライクグループ	543	351
7	エスユーエス	400	217
8	住友生命保険	340	300
9	クボタ	330	328
10	ライフコーポレーション	300	283

(注)単位は人

コロナ禍で採用を抑えた前年からの反動で18.1%増と高い伸びを示したが、それを上回った。専攻別の採用計画数を回答した企業をみると、理工系は20.2%増で全国（26.1%増）よりやや低い程度だったが、文科系は9.2%増で全国（19.2%増）を10%下回った。デジタルトランスフォーメーション（DX）や脱炭素の推進、電気自動車（EV）シフトなどに備え、関西では理工系人材の確保を重視する動きが顕著で、採用を伸ばす企業が目立っている。非製造業は23.8%増の計画だ。不動産・住宅は21.7%増で、大和ハウスグループは198人増の1190人を計画する。技術者不足に対応するため、工事担当者や設計者など理系人材の採用を増やす。23年度は当初1230人を計画していたものの、採用競争の激化で

大卒採用人数の前年度比増減率



(注)24年度は計画

2024年春の大卒採用計画

	関西	全国
全産業	19.9	21.6
製造業	14.4	16.9
非製造業	23.8	23.5
文科系	9.2	19.2
理工系	20.2	26.1

(注)23年度実績見込み比増減率%、専攻別は回答した企業のみで集計

採用実績は992人ととどまった。積水ハウスグループは42人増の約830人を計画している。業界全体で人手不足が進んでいる陸運は60%増。アイト引越センターは16人増の60人を計画している。サカイ引越センターはドライバーを含む引越スタッフの採用を増やす。「24年問題の影響も大きく、シェアを伸ばすために積極採用をする」（同社）

外食・その他サービスは45.4%増だった。鳥貴族ホールディングスは11人増の20人を計画する。運営する居酒屋「鳥貴族」はコロナ禍の影響から回復しつつあり、これまで未進出だった地方都市への出店も加速している。店舗拡大に合わせ、コロナ禍前の新卒採用水準に戻して人員を確保する。

製造業は14.4%増。機械は14.7%増で、ダイキン工業は39人増の約270人の採用を目指す。環境意識の高まりから省エネ性能を高めた空調や、運転状況などのデータを活用したサービスの強化のために技術系の採用を増やす。

電気は16.4%増となった。京セラグループは半導体関連の装置部品や電子部品事業の伸びに対応するため、23年度以上の採用を計画している。これに伴い、採用計画は23年度実績から1割増を見込む。

足元の23年春入社は、初任給の引き上げも目立った。増加額が最も多かったのはNTT西日本グループで、3万9000円増の25万円となった。任天堂は2万3000円増の25万6000円に、ラウンドワンは2万2000円増の30万6000円とする。大和ハウスも2万円増やす予定で、待遇改善を通じて人材確保を目指す。

の採用を計画している。鹿児島県や滋賀県の主力工場で新工場棟を建設するなど国内外で増産投資を続けており、技術系などを積極採用する。日本電産グループは、車載や家電向けモーターの需要増に加えて、工作機械事業に新規参入し事業を拡大している。これに伴い、採用計画は23年度実績から1割増を見込む。